

高岡の森歴史だより

第2回 大浦光信倚像



▲大浦光信倚像

前回、当館の1室目に展示している鎧兜(よろいかぶと)の紹介をしましたが、「武具甲冑展」会期中の7月4日までは、いつも鎧兜のある場所に別の資料を特別展示しています。

床几(しょうぎ)に腰掛け、太刀を佩(は)き、采配を手にした甲冑(かっちゅう)姿の武者像、「大浦光信倚像」です。「大浦光信」と聞いて、ピンとくる人もいるかもしれません。

若武者像、「大浦光信倚像」です。「大浦光信」と聞いて、ピンとくる人もいるかもしれません。

光信は、1491(延徳3)年に、岩手県久慈(くじ)から青森県鰺ヶ沢の種里(たねさと)に入った武

高岡の森弘前藩歴史館より、展示資料や歴史ネタを毎月紹介します。
■問い合わせ先 高岡の森弘前藩歴史館(☎ 83-3110)

将です。1502(文亀2)年には岩木山の東側の大浦に進出するなど勢力を広げましたが、1526(大永6)年に種里城で死去しました。その後、光信の家系に連なる津軽為信によって津軽統一がなされ、光信は津軽家の始祖として敬われました。

光信の200年忌を終えた1729(享保14)年、長勝寺は寺の創建者である光信像を制作して寺内に安置し、津軽氏の子孫繁栄・長久を祈願したいと藩に要望しました。この申し出は即座に認められ、江戸の仏師に制作が依頼されました。翌年には光信像が完成し、江戸を出発した光信像は藩主の国入りの経路・儀式をもって迎えられ、長勝寺に安置されました。

高さ50cmほどの小ぶりな武者像ですが、津軽の歴史を物語る貴重な作品ですので、ぜひこの機会にご覧ください。

弘前の偉人たち

第14回 女性教育に生涯を捧げた柴田やす(1881-1950)



(写真提供 柴田学園)

やすは、今村家の長女として青森市に生まれました。物心のつく前に父親が亡くなり、母の再婚や伯父の家で暮らすなど、わずか14歳で4回も生活の場を替えました。こんな逆境にあってもくじけることなく、明るく誠実な努力家だったといいます。

20歳で結婚、子どもを2人授かりますが、遊び好きの夫の分まで忙しく働く日々、「これから女性は、女として、母として独立して生計立てることができなければ」と、子どもを他家に預け、上京を決意。26歳で東京府家事教員伝習所に入学して教員資格を取り、東京で小学校の教師を勤めながら洋裁学校で技術を習得しました。病気で倒れた夫の看病のため帰郷してからも、

市教育委員会が発刊している「新・弘前人物志」から、弘前が生んだ偉人たちを毎月紹介します。皆さんに知らなかった偉人と会えるかもしれません。

■問い合わせ先 教育センター(☎ 26-4803)

子育てと教師勤めの傍らに勉強を続け、中学校家政科被服教員の免許を取得。弘前で裁縫の私塾を開くと、丁寧な仕事が評判となり、40歳の時、弘前和洋裁縫女学校を開校します。そこから発展し、東北女子短期大学(現 柴田学園大学短期大学部)、東北女子大学(現 柴田学園大学)、東北栄養専門学校、柴田女子高校(現 柴田学園高校)、柴田女子中学校(後に閉校)を創立。東北女子短期大学の開学式の日、壇上で式辞を読む最中に倒れ70歳で急逝するまで、女性の教育に生涯を捧げる生き方を貫きました。

弘前が生んだ傑出した人物を紹介した「弘前人物志」は、1982(昭和57)年に初めて発刊されました。詳しく知りたい人は「新・弘前人物志」をご覧ください。

【お詫びと訂正】4月1日号掲載「第13回 東奥に生まれた日本の國士 本多庸一」の中で、「1876(明治9)年に弘前教会を創立」とあるのは「1875(明治8)年に弘前教会を創立」の誤りでした。また、「庸一」の読み方は「よういつ」「よういち」の2つの呼称が使われていました。お詫びして訂正します。

暮らしのInformation

●弘前市役所 ☎ 35-1111
●岩木庁舎 ☎ 82-3111 / ●相馬庁舎 ☎ 84-2111

F…ファクス E…Eメール H…ホームページ 開…問い合わせ・申込先

②弘前城植物園散策&ハーバリウム製作体験

季節の花が咲き誇る植物園(弘前公園内)をガイド付きで散策後、ハーバリウムボールペンの製作体験をします。

▼体験料 1,500円(材料費、入園料込み)

③藤田記念庭園散策&お抹茶点(た)て体験



大正ロマンあふれる藤田記念庭園(上白銀町)をガイド付きで散策後、お抹茶点て体験をします。

▼体験料 1,500円(お抹茶代、入園料込み)

~共通事項~

▼とき 5月12日(水)~16日(日)の午前10時~午後4時

▼ところ 藤田記念庭園考古館(上白銀町)2階ギャラリースペース

▼入場料 無料

問 クラフト&和カフェ匠館(☎ 36-6505)

▼とき 5月10日(月)~11月23日(火・祝)の午前10時~午後2時(所要時間は①90分、②・③60分)

※希望する日の5日前までに予約が必要。詳しくはお問い合わせください。

問 藤田記念庭園(☎ 37-5525)

動物さんのもぐもぐ観察

どの動物にごはんをあげるかは、当日までのお楽しみ!



▼とき 5月16日(日)、午前11時30分~

▼ところ 弥生いこいの広場

▼対象 動物広場に入場した人

▼参加料 無料
※ただし動物広場の入場料が必要。事前の申し込みは不要。

問 弥生いこいの広場(百沢字東岩木山、☎ 96-2117)

ル、替えの下着・靴下(雨天決行)
※事前の申し込みが必要。

問 こどもの森ビジャーセンター(坂元字山元、久渡寺境内、☎ 88-3923) / 市みどりの協会(☎ 33-8733)

津軽びいどろ・桜の世界企画展

工芸的な作品や食器・インテリア雑貨の展示販売会です。



▼とき 5月12日(水)~16日(日)の午前10時~午後4時

▼ところ 藤田記念庭園考古館(上白銀町)2階ギャラリースペース

▼入場料 無料

問 クラフト&和カフェ匠館(☎ 36-6505)

津軽まちあるきイベント

①弘前公園散策&ハーバリウム製作体験

歴史ある古木・名木が現存する弘前公園をガイド付きで散策後、ハーバリウム(乾燥させた植物をオイルの中に入れて色や形を長持ちさせたもの)ボールペンの製作体験をします。



▼体験料 2,000円(材料費、入園料込み)